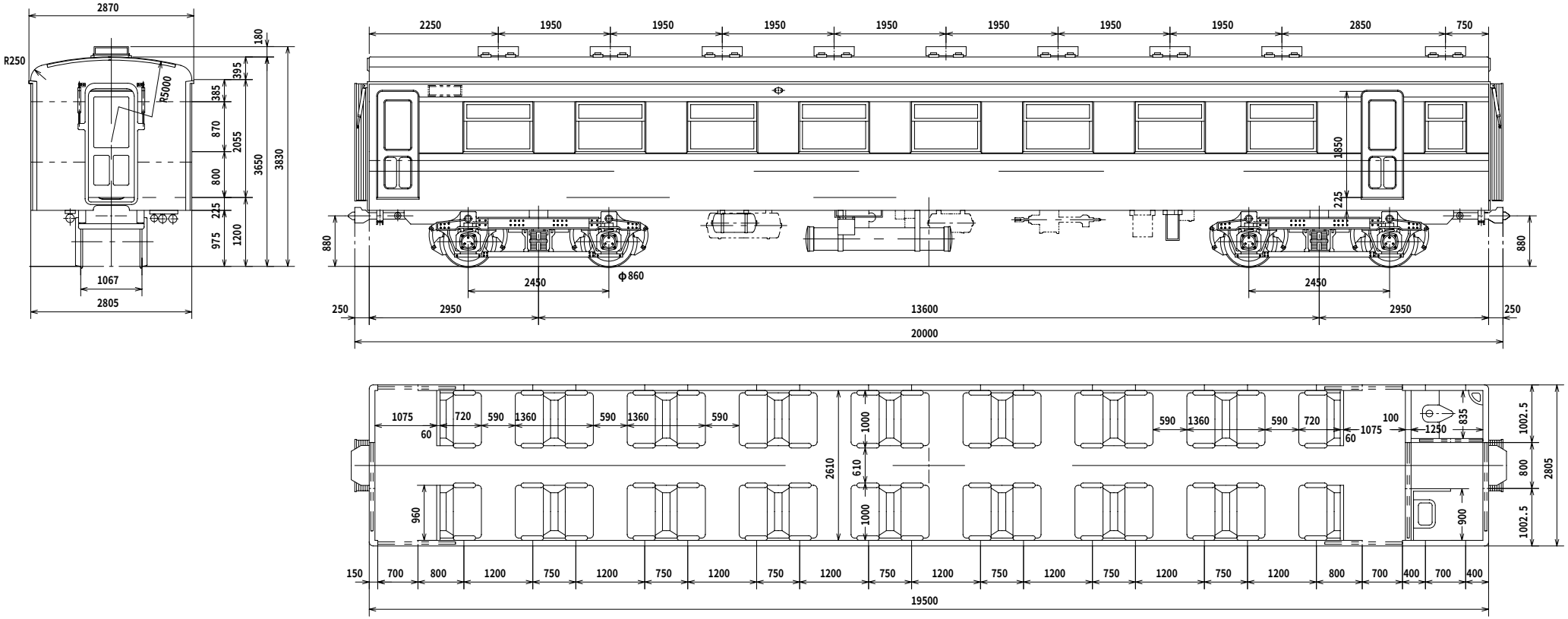
国鉄　サロ46型　形式図

70系は1957年の全金属製車まで増備が続き、いくつかの種類に分かれるほか、
各部に改造による変化があるが、図は第一次の製造当初の姿を示す
台車DT16(モハ)、TR45A(サロ)。なお、サロ46はむしろ湘南型のサロ85に
近いタイプの車輌で、のちサロ75と改称
同系車として、モハ70の屋根を浅くし、歯車比を変えて中央線用とした
モハ71がある
このシリーズはサハがないのが特徴だが、4形式あわせて総計約280輌が
製造された